

案内

チャペル・ウィークについて

今週はチャペル・ウィークです。各方面で活躍されているクリスチャンの方々をお招きして、学生に向けてお話しいただく特別な一週間です。1・2時限の授業時間を短縮し、礼拝時間を10分延長して実施します。

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みはできません。携帯電話・スマートフォンは必ず電源を切るかマナーモードにして下さい。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」「祝祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わった途端に退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。
- 許可なく礼拝を録画・録音することはご遠慮ください。

「聖書とキリスト教文化に親しむ会」参加者募集中です

聖書を学んでみたい方、キリスト教と他の思想、文学、時事問題等との関わりに興味のある方、宗教センター (agcac@aoyamagakuin.jp) までお申し出ください。
集会内容については宗教センターホームページまたはポータルにて紹介します。

★聖書に親しむ会

| 形態 | キャンパス | 期間 | 曜日 | 時間 | 担当者 | タイトル |
|----|-------|------------|----|-------------|-------|-----------------|
| 対面 | 青山 | 通年 | 金 | 12:40~13:10 | 高砂 民宣 | 聖書味読 |
| 対面 | 青山 | 通年 (不登) | 土 | 12:40~13:10 | 島田 由紀 | 名画と共に聖書に親しむ |
| 対面 | 青山 | 通年 | 月 | 12:40~13:10 | 伊藤 悟 | 聖句暗唱にチャレンジ! |
| 対面 | 相模原 | 通年 | 火 | 12:30~13:00 | 福嶋 裕子 | 聖書に学ぶ知恵の言葉 |
| 対面 | 相模原 | 通年 | 木 | 12:40~13:10 | 大宮 謙 | ルカによる福音書をみんなで読む |

★キリスト教文化に親しむ会

| 形態 | キャンパス | 期間 | 曜日 | 時間 | 担当者 | タイトル |
|----------|-------|------------|----|-------------|--------|----------------------|
| 対面/オンライン | 青/相 | 通年 | 木 | 12:40~13:10 | 山本 美紀 | 讃美歌を創ろう! |
| 対面/オンライン | 相/青 | 通年 | 金 | 12:35~13:15 | 井口 幹夫 | カフェ・アルファ(Café Alpha) |
| オンライン | | 通年 (隔週) | 水 | 12:30~13:10 | 芹田 敏夫 | 科学と信仰について考える |
| オンライン | | 通年 | 木 | 21:00~22:00 | 村上 広史 | 働くのは何のため? |
| 対面/オンライン | 青/相 | 通年 | 金 | 12:30~13:10 | 山本 与志春 | 院長マジラン |
| 対面 | 青山 | 後期 | 木 | 12:35~13:15 | 茂 牧人 | 「ヨブ記」を理解する |
| 対面 | 青山 | 後期 (隔週) | 木 | 12:40~13:10 | 伊藤 悟 | ランチ&トーク |

青山学院大学礼拝週報

2023. 10. 16.

神の国節第20週

No.22

チャペル・ウィーク

青山学院の歩み [21]

スプロールズ (Alberta B. Sprowles) とPS講堂

青山学院の発展、女子教育の充実のために貢献した一人に、アルバータ・スプロールズがいます。スプロールズは1872年、米国フィラデルフィアに生まれ、1906年メソジスト監督教会婦人外国伝道会社より派遣されて来日しました。遺愛女学校校長を経て、1914年に青山女学院院長として迎えられ、それ以来、青山学院高等女学部部长、女子専門部部长を歴任し、青山のために生涯祈り続けました。このスプロールズの熱心な祈りと活動に米国のメソジスト教会はいたく動かされ、そのころ婦人教育家ミズ・プラットから寄附

された4万ドルを青山のために用いることとし、これを資金として1939年に女子教育のための講堂が建てられました。当初はプラット記念講堂と名づけられましたが、戦災にあった講堂の修復募金に尽力したスプロールズの功績を記念して「プラット・スプロールズ講堂」(PS講堂)と呼ばれるようになり、これまで高等部の礼拝堂兼講堂として親しまれてきました。

今年度の主題聖句

私たちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。

見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に存続するからです。

(コリントの信徒への手紙 二 第4章18節)



今週の聖句

「愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれた者であり、神を知っているからです。」(ヨハネの手紙一 第4章7節)

解説：この一節の指す「愛」とは、ギリシャ語では「アガペー」です。アガペーの愛は、他者のためには自らが苦しむことをもいとわず、何の見返りをも期待をしません。「行動の伴う愛」と言い換えることもできます。今日、他者に対するあなたの行動の在り方を見つめる時間を持ちましょう。神様との親密さを通してこそ、心から喜んで他者を愛することができるのです。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

夕礼拝／ガウチャー記念礼拝堂

(火・18時30分～19時)

10月16日(月)

司式 八木 隆之
奨励 内田 和利
(弁護士)

前奏 奏楽 坂戸 真美

招詞

讃美歌 (灰色) 57

聖書 1テサロニケ 5:16～18
(新370頁)

奨励 「誰もが自分らしく
生きられる社会を」

祈禱

頌栄 (灰色) 24

祝禱

後奏

10月17日(火)

司式 島田 由紀
奨励 真下 弥生
(美術教育家・美術史家)

前奏 奏楽 身崎真理子

招詞

讃美歌 (茶色) 326

聖書 ルカ 6:6～11
(新110頁)

奨励 「美術にふれる
場をつくる」

祈禱

頌栄 (茶色) 543

祝禱

後奏

夕礼拝

10月17日(火)

コンテンポラリー礼拝

聖書 詩編 139:13～16
(旧962頁)

メッセージ

「神様がくれた人生の目的」

廣瀬 みちる
(ジャズピアニスト)

ワークショップ・ディレクター

塩谷 達也

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

10月16日(月)

司式 大宮 謙
奨励 小山 美弥
(獣医師)

前奏 奏楽 堀井美和子

招詞

讃美歌 (茶色) 453

聖書 マタイ 6:26
(新10頁)

奨励 「きけや愛の言葉」

祈禱

頌栄 (茶色) 544

祝禱

後奏

10月17日(火)

司式 吉岡 康子
奨励 堀田 季何
(文芸家)

前奏 奏楽 徳田 佑子

招詞

讃美歌 (灰色) 419

聖書 マタイ 7:9～12
(新11頁)

奨励 「与えあう」

祈禱

頌栄 (灰色) 25

祝禱

後奏

10月18日(水)

司会 David Reedy
奨励 武田 勝彦
(チャイルド・ファンド・ジャパン
事務局長)

前奏 奏楽 坂戸 真美

招詞

讃美歌 (茶色) 285

聖書 マタイ 6:6～14
(新9頁)

奨励 「使命に気づく道のり」

祈禱

頌栄 (茶色) 542

黙禱

後奏

10月18日(水)

司式 吉岡 康子
奨励 白杉由香理
(医師・三井記念病院血液内科科長)

前奏 奏楽 越川伊豆美

招詞

讃美歌 (灰色) 516

聖書 1ペトロ 4:10,11
(新423頁)

奨励 「人生回り道でも
大丈夫?」

祈禱

頌栄 (灰色) 28

祝禱

後奏

10月19日(木)

司式 左近 豊
奨励 松浦由佳子
(アルペ・なんみんセンター
小金井センター長)

前奏 奏楽 松浦 光子

招詞

讃美歌 (灰色) 575

聖書 ヨハネ 1:1～5
(新160頁)

奨励 「私たちの
『いのち』とは?」

祈禱

頌栄 (灰色) 27

祝禱

後奏

10月20日(金)

司式 大宮 謙
奨励 北川 裕子
(東京大学大学院
教育学研究科特任助教)

前奏 奏楽 徳田 佑子

招詞

讃美歌 (茶色) 298(1節)

聖書 エゼキエル 16:6
(旧1297頁)

奨励 「『生きよ』と言った」

祈禱

頌栄 (茶色) 539

祝禱

後奏

10月19日(木)

司式 藤原 淳賀
奨励 飯田 瑞穂
(日本キリスト教婦人矯風会理事長)

前奏 奏楽 坂戸 真美

招詞

讃美歌 (灰色) 484(口語訳)

聖書 マタイ 5:14,15
(新6頁)

奨励 「あなたがたは
世の光である」

祈禱

頌栄 (灰色) 29

祝禱

後奏

10月20日(金)

司式 福嶋 裕子
奨励 大場 元紀
(FCAジャパン代表理事)

前奏 奏楽 鷺 晶子

招詞

讃美歌 (灰色) 464

聖書 1ペトロ 5:6,7
(新424頁)

奨励 「へりくだりが
生み出すもの」

祈禱

頌栄 (灰色) 24

祝禱

後奏

聖書(旧):旧約聖書

聖書(新):新約聖書

讃美歌(灰色):讃美歌21

讃美歌(茶色):讃美歌・讃美歌第二編

説教・奨励者紹介

<青山キャンパス>

うち だ かず とし
内 田 和 利

弁護士。2019年より、こすぎ法律事務所に参画。主な活動としてLGBTQに関する法的問題や、格闘家(プロボクサー・プロキックボクサー・プロ総合格闘家など)に関する法的問題、労働問題等に取り組んでいる。

ま しも や よ い
真 下 弥 生

青山学院大学、東京神学大学、東京外国語大学非常勤講師。フルブライト奨学金を得て、ジョージ・ワシントン大学教育学大学院修士課程博物館教育専攻修了。校正・翻訳の仕事しながら、美術鑑賞・制作のワークショップを行っている。共著に『ふれる世界の名画集』(日本点字図書館)、翻訳に『たどりつくまで』(新教出版社)。月刊誌『福音と世界』で「教会におけるマイクロアグレッション」の翻訳を連載中。日本キリスト教団巣鴨ときわ教会会員。

しら すぎ ゆ かり
白 杉 由香理

青山学院大学文学部教育学科(心理学専修)卒業。日本ビクター株式会社(現JVCケンウッド)に入社。音楽ソフト制作子会社に出向となり、社長室(秘書)、販売促進部で5年間勤務後、東海大学医学部医学科に2年次編入学。1995年医師免許取得。初期・後期研修医終了の後、血液内科(貧血、白血病、悪性リンパ腫などの診療を行う診療科)に進む。東海大学医学部血液腫瘍内科准教授を経て、現在三井記念病院血液内科科長。医学博士、日本内科学会専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医。16歳から100歳までの血液の病気を持つ患者さんの診療に日々従事しています。日本キリスト教団吉祥寺教会会員。

まつ うら ゆ か こ
松 浦 由佳子

ICU(国際基督教大学)卒業後、JICA(国際協力機構)に約11年勤務。駐在先のアフガニスタンで信仰を持ち、日本における難民問題に関心を持つ。JICA退職後は、留学、NGO勤務のかたわら難民支援を続け、2022年4月にNPO法人アルペなんみんセンターに入職。現在は今年4月に開設した2つ目のシェルター・小金井センターのセンター長。コロンビア大学国際関係修士、オーストラリア国立大学 中東・中央アジア研究修士。カトリック教会イグナチオ教会会員。

きた がわ ゆう こ
北 川 裕 子

東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。帝京大学医学部精神神経科学講座博士研究員(日本学術振興会特別研究員PD)、同大学医学部衛生学公衆衛生学講座助教、東京大学相談支援研究開発センター特任助教を経て、現在は東京大学大学院教育学研究科特任助教。一般社団法人RAMPS代表理事。論文に“Suicidal feelings interferes with help-seeking in bullied adolescents. PloS one. 2014;9(9):e106031.” “Appetite loss as a potential predictor of suicidal ideation and self-harm in adolescents: A school-based study. Appetite. 2016;111:7-11.” などがある。日本福音ルーテル教会本郷教会会員。

<夕礼拝>

ひろ せ
廣 瀬 みちる

MESAR HAUSE ジャズピアノ科卒業。美しい音色、情景が浮かぶ旋律が魅力のジャズピアニスト。教会オルガン奏者であった母親の影響で、幼い頃からクラシックピアノを学ぶ。学生時代にジャズに出会い、ジャズピアノへの転向。現在はジャズ、ゴスペルクワイヤでの演奏活動の他、映画やTV番組挿入曲など映像作品にも多数参加。ピティナ提携コンクール「クリスタルピアノコンクール」アレンジ部門入賞。リトミック上級指導者資格を取得し、子供のためのコンサート活動にも力を入れている。Paz International Paz Church Japan会員。

説教・奨励者紹介

<相模原キャンパス>

こ やま み ね
小 山 美 弥

獣医師。日本獣医生命科学大学獣医学修士。日本医科大学助手を経て、現在アニマルメディカルセンター勤務・ヤマザキ学園非常勤講師・食料学院非常勤講師。令和2年より東京神学大学理事。日本キリスト教団青山教会会員。

ほっ た き か
堀 田 季 何

文芸家として、詩歌を中心に多言語多形式で創作。俳誌「楽園」主宰、歌誌「短歌」同人、現代俳句協会理事、国際俳句協会理事、現代歌人協会会員、日本文藝家協会会員。詩歌集『人類の午後』を含め、著書多数。芸術選奨文部科学大臣新人賞、現代俳句協会賞、日本歌人クラブ東京ブロック優良歌集賞、芝不器男俳句新人賞奨励賞、石川啄木賞等。ローマ・カトリック教会カトリック本郷教会会員。

たけ だ かつ ひこ
武 田 勝 彦

鎌倉に生まれ、実家でベトナム難民の世話をしたことが転機となり、国際支援の道を目指すようになる。金融機関での勤務経験や英国大学院留学を経て、いくつかの国際NGOに転職。旧ユーゴスラビア、スリランカ、ヨルダン、タンザニアでの駐在、世界各地での開発支援事業や緊急復興支援事業の運営管理、事業部長や事務局長を歴任。2017年4月よりチャイルド・ファンド・ジャパン事務局長に就任。上馬キリスト教会会員。

いい だ みず ほ
飯 田 瑞 穂

1993年～1997年、チェルノブイリ原発事故の被災地となったベラルーシの子ども達をホームステイさせる「保養里親運動」に参加し、現地との交流を始める。1998年～2007年「日本キリスト教協議会チェルノブイリ災害問題プロジェクト」協力幹事。現在、日本基督教団溝ノ口教会牧師。日本キリスト教婦人矯風会理事長。「原子力行政を問い直す宗教者の会」世話人。

おお ば もと き
大 場 元 紀

Prairie Bible College Bachelor of Art Ministry, SPORT and Management専攻。2004年に都内でHoopバスケットボールミニストリーを立ち上げスポーツ好きなクリスチャンへのミニストリーをスタート。その後カナダでの学びを経て、エスペランサスポーツクラブ(横浜)チャプレン兼副クラブマネージャーに就任。現在は一般社団法人FCAジャパン代表理事、チャプレン、3Dコーチングプレゼンター、国内宣教師として活動。コーチングセミナーやワークショップを東京、名古屋、大阪、広島にて開催中、またチャプレンとして選手の心のケアにもあたっています。一般社団法人FCAジャパン代表理事。日本福音キリスト教会連合宣教教会 対象奉仕者。